

所長だより第73号 令和4年6月13日

希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<https://uminoko.jp/>

令和4年度児童学習航海始まる

【所長 東 文三】

今年度の児童学習航海が、5月17日に始まりました。1泊2日の航海を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全ての航海を日帰りの1日航海として実施することとなりました。今年度は全102回の児童学習航海と未乗船児童対象の「湖の子」体験航海1回、親子を対象とした「うみのこ」親子体験航海を3回、いずれも1日航海にて実施します。

令和4年5月17日、守山市立守山小学校の校長先生、野洲市立中主小学校の教頭先生、引率の先生方、5年生児童にご参加いただき、琵琶湖大橋港にて令和4年度「湖の子」出航式を開催いたしました。

式では、滋賀県教育委員会嬉野教育次長が、「『うみのこ』から見える『母なるびわ湖』の雄大さ、美しさを全身で感じてください。また、びわ湖学習を通してびわ湖の環境についてももしっかり学んでください。」と児童に話し、激励しました。1泊2日の航海がなくなったことは大変残念ですが、今年の小学5年生も、安全、安心で楽しいフローティングスクールを体験してもらいたいと思います。



今年度の航海では、特に、乗船校が同じ活動を同時にしたり交流ができるようにしたりしていきます。まず、昨年度はできなかった開校式、閉校式を実施します。多目的室のカメラで撮影した代表の先生や児童、フローティングスクール所員の話や各活動室の大型モニターの映像で観たり、「湖の子」周航歌「希望の船」も聴いたりする機会を設けました。さらに、学校紹介を視聴したり、学習発表を聞いたりする「湖の子のつどい」を実施することもできます。今後新型コロナウイルス感染症が収束してきた時は、名刺交換やメッセージ交換をしたり、混合班を編成して一緒に活動したりできるようにしたいと思います。

出前授業の実施やびわ湖学習の充実にも努めます。フローティングスクール所員が希望する学校に赴き、授業を行う出前授業では、 Cutter 活動体験教室も含めて、「水のごれ回復」や「びわ湖の深呼吸」の実験、「ヨシの活用」や「生き物ワークショップ」、「漁業と食文化」などの授業を昨年度1年間で、のべ81校、271時数実施しました。今年度も既に、のべ64校から申し込みがあり、約20校にて実施しています。乗船する事前や事後の学習として行い、乗船中の体験が有意義なものになるよう出前授業をします。また、琵琶湖博物館と連携しての教職員研修会の開催、研究航海の実施、各校での校内研修会などでの講師派遣などによりびわ湖学習の充実にも取り組んでいきます。

昭和58年に始まったフローティングスクールも40年目、昨年度末までに湖の子を経験した小学5年生は594,569名でした。今年度の航海で、乗船者数が60万人を超える予定です。これまで大きな事故なく続いてきたフローティングスクール、今年度の102航海も安全で、充実した航海となるように取り組めます。ご支援よろしくお祈いします。